



第6学年2組 総合的な学習の時間学習指導案

第6学年2組 31名

授業者 塩崎 裕也

1 単元名 「未来をつくる私たち」

2 単元の目標

環境問題や人権問題を自分の問題としてとらえ、問題を解決するためにできることを協動的に考え、多角的な視点で調査・追究し、自分たちなりの行動計画をもとに実践活動に取り組むことができる。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① ウェビングを使ってSDGsに関する学習活動を構想し、KJ法的な手法を使って課題を設定している。	①収集した情報を必要に応じて取舍選択・整理し、自分たちができることを考えるために、活用している。	①自己決定した活動に目的意識をもって粘り強く取り組み、よりよい解決に向けて工夫しようとしている。
② 学校・家庭・地域における自分の生活を見つめ直し、問題の解決に向けた学習計画を立てている。	②伝える目的や相手に応じて、集めた情報や自分の考えを、筋道を立てて明確に表現し伝えている。	②調査・追究、実践活動を生かして、自分の生活を見直し、自分にできることを主体的に考えようとしている。

4 単元について

本単元では、5年生までに学習してきたSDGsの視点で世界や日本の諸問題について考え、身近な生活の中で自分にもできる活動を計画し、実践することを目標としている。これまで、国語科や総合的な学習の時間等で学習してきた、自分の一番伝えたい事柄を決めたり、テーマに対して考えを広げたりするウェビングの手法を使い、学習課題に対して興味・関心をもたせていく。

一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら多面的・総合的に考えて活動することを通して、持続可能な社会を実現する一員となる意識を高めることをねらいとしている。

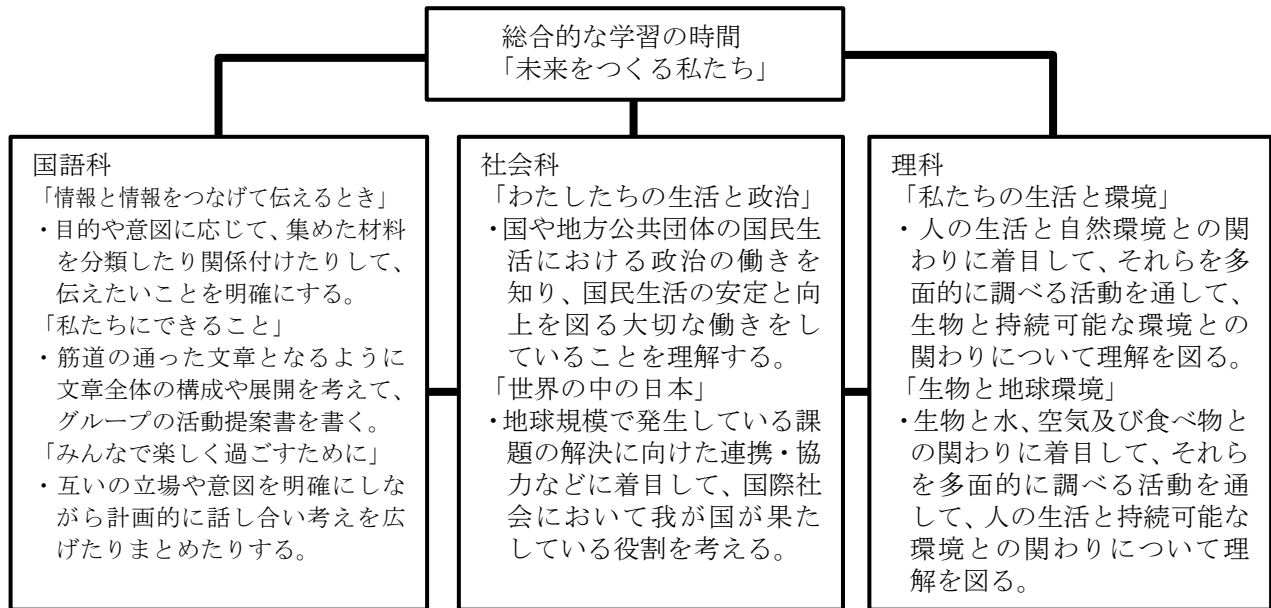
5 SDGsとの関連

[関連目標①] 貧困の原因や貧困がない社会をつくるための取り組みを知ることは、目標達成のために一人一人が実際に行動を起こすことの重要性に気付くことができる。

[関連目標⑩] 国家間の格差や人々の不平等感に関することを知ることは、偏見や差別を行わないようにする意識を向上させることができる。

[関連目標⑮] 森林破壊や様々な生物が絶滅していている現状について知り、森林の生命を維持する重要性について理解することができる。

6 他教科等との関連



7 児童の実態

6年生児童は、これまでSDGsに関する学習を繰り返し体験する中で、その意義や世界中で課題の解決に向けた様々な取り組みがなされていることを知り、理解を深めてきた。

5年生では、身近な環境である「ふるさとの浜辺公園」で回収した海ゴミや水質調査の結果を学校内外に発信したり、「NOストローDAY」を計画・実践したりする活動に取り組んできた。これらの活動を通して、世界が抱える課題解決のために自分たちにもできることがあることを実感し、様々な課題について、「自分ごと化」して具体的な行動を思い描く児童が増えてきている。

ESDアンケートの中で、②未来（生活との関連）、④伝達（未来を変える可能性）、⑥関連（地域の一員）の数値が高い。これは、昨年度の「NOストローDAY」で、身近な生活の中でできることを全校に向けて提案し、初回から90%を超える高い参加率で活動への賛同を得たことが、成功体験として結果につながっていると考えられる。

また、学級としては⑤協力と⑦参加の数値が高くなっている。これまでの学習経験として、課題に対して自分たちの生活にも関わる身近なものとして捉え、学習に臨んできたことや協力しながら活動に取り組めたことが今回の結果につながっていると考える。

一方で、「目的や見通しをもって計画を立てることができる」や「地域の一員として自分にもできることはあると思う」の項目については、数値が低く出ている。このことから、本時では、自分たちには何ができるのかを考えることを通して、実際に実践するための活動計画をよりよいものにするための話し合いを行う。一人一人が自身の計画を見直すことで、目的意識や活動への見通しをもって取り組めるようにした。計画から実際に活動を行い、振り返ることを通して、自分たちにもできることがあるという意識を高めていきたい。また、国語「私たちにできること」や「みんなで楽しく過ごすために」などで、提案書を作成したり考えを広げたりする活動や社会科などの教科、学校行事などと関連させていくことを通して、課題解決の力を身に付けることができるように取り組んでいく。

ICTを活用した学習活動では、計画外の指導（文字入力等）に時間を要することがあったり、情報の収集のみに終始し、情報の適切な選択・活用がなされないまま、発表・発信を行ったりすることがあった。情報活用の実践力を、どのように育成していくかという視点に基づいた指導計画の作成や、児童によるICT活用の指導についても十分に考慮していく必要がある。

8 研究に迫るための手だて

(1) 児童や授業者が「学びを評価」するための評価方法の手だて

ア 総合的な学習の時間では、児童自身が自らの学習活動の状況に気付き、学習活動を改善していくことが求められる。自らの状況を的確に評価できれば、修正・改善すべき点が明らかになり、学習活動はさらに充実することが予想される。そこで、ポートフォリオを用いた自己評価やグループ間での相互評価などを活用し、追究する意欲の向上を図っていききたい。

そのため、児童自身が学習活動を振り返り、その後の学習活動を見通すことができる評価が大切であると考え。学習過程「課題設定～調査・追究～実践～成果・表現」の各段階で見通しをもつことで、解決に向けての追究・活動意欲の向上、持続が期待でき、主体的に学習活動を進めることができると考えられる。また、児童と教師による評価を相互活用することによって、学習理解の深まりや自己評価力の高まりも期待できる。

イ 学習活動を主体的に進めるためには、自分の活動を振り返り、次の活動を見通すことが必要になる。そこで、個人・グループでの実践活動の計画書（ワークシート含）を作成し、目的・内容・方法・相手などを明確にすることで、学習活動を具体的に見通すことができるようにしたい。学習過程の各段階で、計画書に基づいて学習活動を振り返り、成果や課題、次の活動について、自分の考えを整理できるようにする。これらの計画書及びワークシートを使うことにより、児童は学習活動に見通しをもち、計画の修正・改善ができると考える。

(2) 学びを深める学習活動の手だて

ア 単元の導入において、ウェブ授業「朝日小学生新聞～SDGsって何だろう」や、子ども・若者向けのハンドブック「私たちが目指す世界 子どものためのSDGs」（セーブザチルドレン刊）など、各種コンテンツを用いて、SDGsについて改めて学び直す時間を設定した。世界の現状・現実について知り、日常生活からは想像することが困難な、世界の問題へ目を向けることができ、児童の世界観を広げ、多様性を認める助けになることを期待した。また、その中から問題を発見し、自分と社会のつながりを感じ、社会の一員としての自覚をもって学習に向かうことに有効であると考えた。

イ 課題設定の段階においては、各教科・領域の学習で活用してきた思考ツール等を活用して、児童がこれまでに得た情報や既習内容についての考えを深めたり、関連付けたりする活動を取り入れた。ウェビングやKJ法を用いて、一人一人が今年度追究したい内容や取り組みたい活動を、SDGsの観点で整理・統合し、個人・グループの追究テーマを設定した。

ウ 総合的な学習の時間を中心に取り組む「未来をつくる私たち」を、ESDカレンダー（カリキュラム・マネジメント）の中心に位置付け、主に国語・社会科・理科の他教科等との関連をより明確にしていく。教科横断的な視点から、目標や付きたい力、実施内容等をSDGsの観点で再整理し、教科の枠を越え、必要に応じて柔軟に内容を取り扱っていく。

9 単元の指導計画と評価計画（全41時間）

時	目標	主な学習内容	評価
1	・学習してきたことを振り返り、今年度の活動について興味・関心を高める。	「大森第一未来環境ラボ」 ・昨年の活動について振り返り、印象に残った内容や追究テーマについて話し合う。	・昨年度の学習を振り返る中で、今年度の活動に意欲をもつことができている。
2	・SDGsについて学び、今年の追究テーマについて考えることができる。	「SDGsについて学ぼう」 ・動画（朝日小学生新聞「SDGsってなんだろう」）を見ることを通して、SDGsについて再度学び直す。	・SDGsについて学ぶことを通して、追究テーマを考えることができている。
3.4	・自分で選んだアイコンを分類分けすることや追究したいテーマについて決めることができる。	「SDGsについて学ぼう」 ・自分の興味をもったアイコンをもとに、分類・整理し追究テーマを決定する。	・進んでSDGsについて考え、追究テーマについて考えることができている。
5	・自分の決めたテーマについて進んで調べることができる。 ・多様な見方・考え方をすることができる。	「SDGsについて学ぼう」 ・夏休み中の課題（調べ学習） ・インターネットや本を使用して自分の興味をもったSDGsについて調べる。	・テーマについて進んで調べている。 ・調べたことについて、様々な見方・考え方ができている。
6.7	・調べてきた情報を共有し、伝え合い情報を整理することができる。 ・自分たちにできることは何か具体的に考えることができる。	「未来をつくる私たち」 ・各追究テーマに基づいてグループ分けをする。（下記はSDGsのアイコン番号） 1組【1・13・14】 2組【1・10・15】 3組【12・13・14】 ・グループのテーマを決め、調べて来たことを伝え合う。	・情報を伝え合い、整理することができる。 ・自分たちにできることについて考えることができている。
8~10	・自分のテーマについてどのようなことが関連するのかを考え、整理することができる。 ・整理した内容についてグループで話し合い、内容をまとめることができる。	「未来をつくる私たち」 ・イメージマップ作りをする。 ・5年生までの学習を生かし、自分たちにできることを考える。	・イメージマップを作成する中で、テーマについて考えを整理することができる。 ・友達と協力をしながら内容をまとめることができている。
11~14	・テーマについて現状や問題点を整理し、解決策について考えることができる。 ・集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。	「未来をつくる私たち」 ・グループで現状・問題点・取り組まれている活動・解決策について考える。 ・自分たちでできるものなのか各自1つずつ考える。 ・何をさらに追究しなければいけないのかについて考える。	・現状や問題点を整理し、解決策を考えることができている。 ・情報を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。

15.16 本時	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いを通して、自分たちの活動について考え、決定することができる。 	<p>「未来をつくる私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとの取り組んでいきたい活動について話し合い、決定をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流した意見をもとに、活動を見直し、よりよいものにしようとしている。
17~19	<ul style="list-style-type: none"> 今後行う活動について進んで話し合い、計画を考えることができる。 話し合いをもとに計画書を作成することができる。 	<p>「未来をつくる私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマごとに発信、活動を行うための計画を立てる。 具体的な計画書を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで話し合い、計画を考えることができている。 計画案をもとに計画書を作成することができる。
外 国語 (10)	<ul style="list-style-type: none"> 筋道の通った文章になるように文章全体の構成や展開を考える。 	<p>国語「わたしたちにできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案する文章の構成を考え、伝え合う。 <p>意見交換</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表した方を工夫することができる。
20~22	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手に分かりやすく伝えるための書き方や手段を考え、内容を整理することができる。 	<p>「未来をつくる私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに調べて分かったことや考えたことをまとめ、他グループへ提案する準備に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き方や伝える手段について考え、内容を整理している。
外	<ul style="list-style-type: none"> 同じグループの友達と協力をしながら活動に取り組むことができる。 	<p>「未来をつくる私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが考えた取り組みを行う。(テーマ別、グループでの活動) 	<ul style="list-style-type: none"> 協力しながら活動に取り組んでいる。
23	<ul style="list-style-type: none"> 活動について振り返り、改善策を考えることができる。 	<p>「未来をつくる私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に活動してどうだったかをグループで振り返り、改善策を考える。また、続行するか検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を振り返り、改善策を考えることができている。
24	<ul style="list-style-type: none"> グループ間の交流を行い、さらに改善できることを考え、実行しようとするすることができる。 	<p>「未来をつくる私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで振り返ったことを他グループにも伝え合う。 さらに改善できる部分を考える 	<ul style="list-style-type: none"> グループでの交流を行う中で、改善点を考えている。
25~28	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の学習活動を振り返り、相手に伝えるべきことは何かをまとめることができる。 グループで自分のやるべきことを意識し、主体的に活動に参加することができる。 	<p>「未来をつくる私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年で伝え合うための準備を行う。 調査結果の発表、発信、活動の呼びかけや提案に向けての準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことを振り返り、相手に伝えることをまとめている。 グループの活動に主体的に参加している。

29.30	<ul style="list-style-type: none"> 相手の発表を聞く中で、気付いたことや考えたことなどを進んで相手に伝えることができる。 	<p>「未来をつくる私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> グループのテーマごとに中間発表を行い相互評価する。 学年で伝え合い、学びの共有化をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表を聞き、気付いたことや考えたことなどを進んで相手に伝えようとしている。
31.32	<ul style="list-style-type: none"> 学年での発表資料をもとに ESD 集会に向けたプレゼンを作成することができる。 個人として今後追求したいテーマについて考え、次の活動への意欲を高めることができる。 	<p>「未来をつくる私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ESD 集会に向けてプレゼン資料を修正する。 学習を振り返り、今後継続して取り組むことを考える。 グループでまとめたことや、やってきたことを基に個人としてもっと追究していきたいことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで協力して発表資料を作成している。 3 学期の活動について考え、意欲を高めている。
33.34	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習に進んで取り組み、調査メモを作成することができる。 	<p>「SDGs 大一宣言」</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人で追究したいテーマについて調べ学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで調べ学習に取り組もうとしている。
35.36	<ul style="list-style-type: none"> 調べてわかったことについてまとめ、現状や問題点について理解、自分にできることは何かを考えることができる。 	<p>「SDGs 大一宣言」</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人で調べたことや2 学期までの活動の中でわかったこと、疑問から社会の一員として自分にできることは何かを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状や問題点について理解し自分にできることは何かを考えている。
37~40	<ul style="list-style-type: none"> 問題点から解決策を考え、「SDGs 大一宣言」を考えることができる。 調べたことについてどのように発信することでより効果が高いのかを考え、まとめることができる。 	<p>「SDGs 大一宣言」</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人としてどう発信していくのか考え、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がこれからどのような活動をしていけばよいのかを考え、「SDGs 大一宣言」をつくっている。
41.42	<ul style="list-style-type: none"> 個やグループとしてどのような成果や課題があったのかについて理解し、まとめることができる。 	<p>「SDGs 大一宣言」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの学習の成果や課題について発信する。 今後も継続して取り組むことを宣言する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「SDGs 大一宣言」を通して、自分の学習してきたことを発信している。
43	<ul style="list-style-type: none"> 1 年間の活動を振り返る中で、自分たちの成果について正しく理解し、これからの生活について考えることができる。 	<p>「SDGs 大一宣言」</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間の振り返り 学習を振り返り、成果や課題、今後の取り組みについて個人、全体でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返り、まとめることを通して、自分の生活や地域、社会について考えている。

10 本時 (15/43) 時間

(1) 本時の目標

話し合いを通して、自分たちの活動について考えている。

(2) 本時の展開

時間	○主な学習内容 ・予想される児童の反応	◆指導上の留意点、配慮事項 ◇評価規準 (評価方法)
導入 3分	○本時のめあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">自分たちの取り組む活動について意見交換をしよう。</div>	
展開 35分	○話し合いのポイントについて確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">①自分の考えをわかりやすく伝えよう。 ②相手の考えを聞いて、自分の考えを深めよう。</div> ○取り組む活動について発表する。 ○発表内容を聞いて考えたことや意見を相手に伝える。 ・自分たちのグループにも取り入れてみたい。 ・もっと○○すればいい案になるかもしれない。 ○話し合いを受け、取り組む内容について検討する。 ・○○の話をもとに、取り組みの改善を考えよう。 ・取り組むことの優先順位を考え直そう。 ・○○さんからのアドバイスを取り入れてみよう。 ○話し合った結果について発表する。 ・○○さんの意見をもとに、これから□□の活動にも取り組んでいきたい。 ・出た意見からもう一度考え直したいことができた。 ・意見交換をすることで、考えを整理することができた。	◆ポイントを意識して話し合いに参加できるように、聞き手と話し手の大切なことをおさえる。 ◆目的や取り組む活動、効果について発表させる。 ◆自分たちの考えをまとめ、適切な言葉で説明させる。 ◇話し合う中で出た意見をもとに、活動について考えている。(発表・話し合い) ◇相手の説明の良い部分や改善点を的確に伝えている。(話し合い) ◆話し合うことでどのような点が深まったのか。また、考えが変わった点等について意識して発表できるように声かけを行う。
まとめ 7分	○本時の学習について振り返る。 ・意見から活動を見直すことで、考えをより深めることができた。 ・話し合ったことをもとに、これからの自分たちの活動についてさらに考えていきたい。	◆今後どのように活動を進めていくのか、具体的に考えていくことを伝える。